



鳥の黒い色は、
木々の葉の緑と
赤い果実の色と
対比して、
秋の情景を
表現している。

陸
一
筆





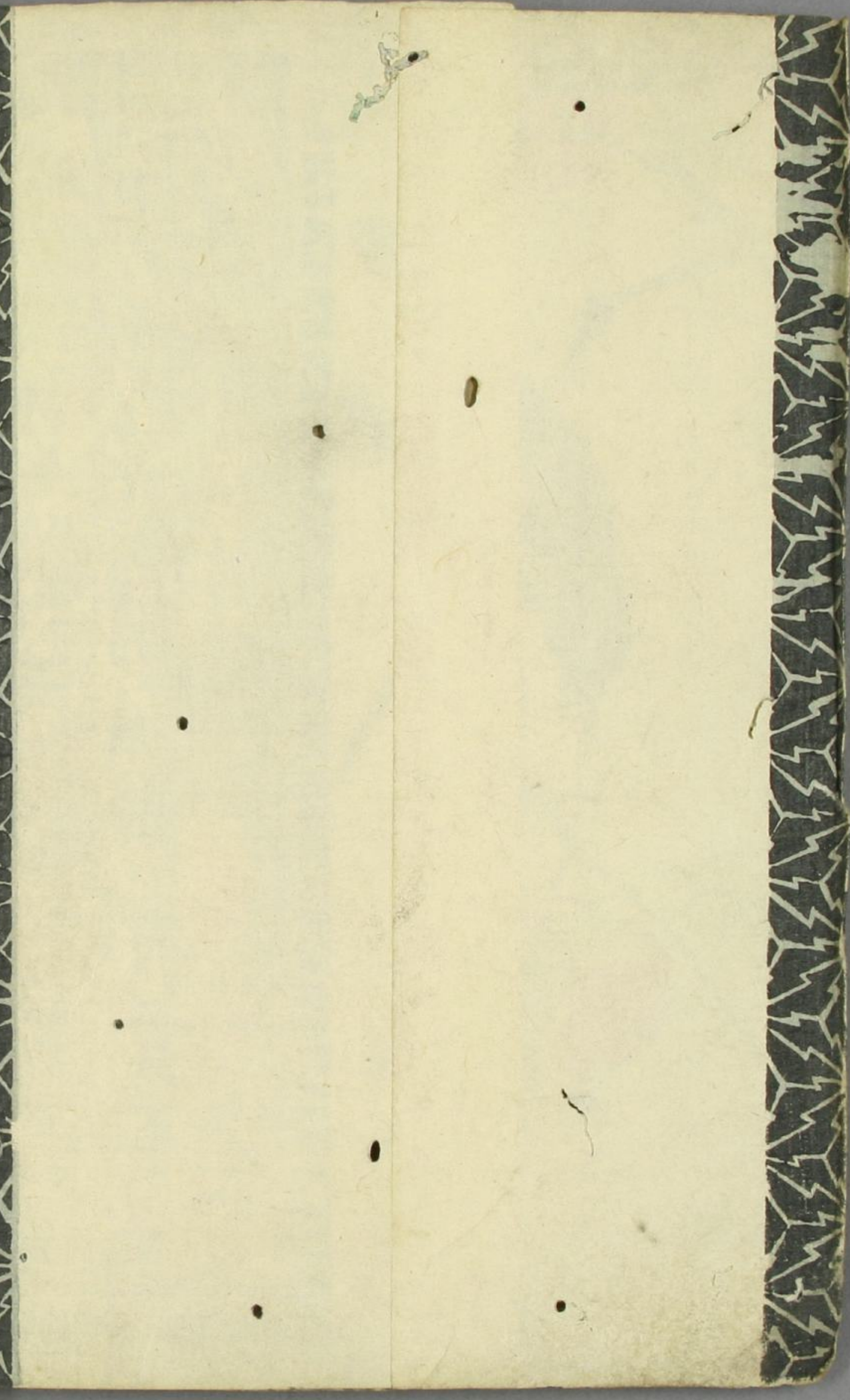
乃之乃乃乃乃

乃之乃乃乃乃
乃之乃乃乃乃
乃之乃乃乃乃

乃之乃乃乃乃

乃之乃乃乃乃

二線



A418
2



白山左衛門佐十郎 潘伸の諧笑あれとてを二轉し白山助六門
の下作水吞農夫あり彼十論の書著しとて語呂手不於某のあつた
自他も西甲も違ふものと同つる言葉も正しく遺う心ある皇國
多し雅言をあらわし例の鄙言もく書つたぬこと女談並説とて
脚色も折目高し神着のさうさく世話場とある野卑書記癖といふ
是も得手不得手巧拙論の極あつて在下あつた肚裏もゆるし神看と
著作とて重なり己を恥ず所要の文章下卑く威る故何様ごゆるし
著業とて筆頭一應せん所謂影呂理諺の流の蔓ハか子の實生う
るのあれは白の如く知るる趣向を御折うと御存知の古い名種の時方
うらんま紅英堂の舎兄が言ふも一理あれ細針とぬ丸筆もく見
實説のよれ種を綴換し明鴉緯へ違ふと音訓も文字も似し山作男閑東
訛のさし御説手撰く著述とあらゆ

萬延二年酉歲
初春發兌

三亭春馬記



這箇の詭解ハ
廿篇より後
巻の説

お嶺の密夫
帯間林松

山名屋の後家
奸婦お嶺

山名屋九郎兵衛

响次郎
奸婦密夫
徴

明鳥





响田次郎太郎
後
响太郎

月鳥



四郎平の女
二代の浦里

田舎

山名屋の遺手
 好婦お身也
 梅の
 枝の
 影の
 似の
 のれ尾の
 山名屋の遺手
 好婦お身也
 梅の
 枝の
 影の
 似の
 のれ尾の
 山名屋の遺手
 好婦お身也
 梅の
 枝の
 影の
 似の
 のれ尾の



月島

初代の浦里



梅の
 枝の
 影の
 似の
 のれ尾の

山名屋の遺手
 好婦お身也

此圖畫之
 人物皆係
 當時所著
 其衣冠之
 制亦與今
 不同也
 此圖畫之
 人物皆係
 當時所著
 其衣冠之
 制亦與今
 不同也



此圖畫之
 人物皆係
 當時所著
 其衣冠之
 制亦與今
 不同也

月
 身
 安

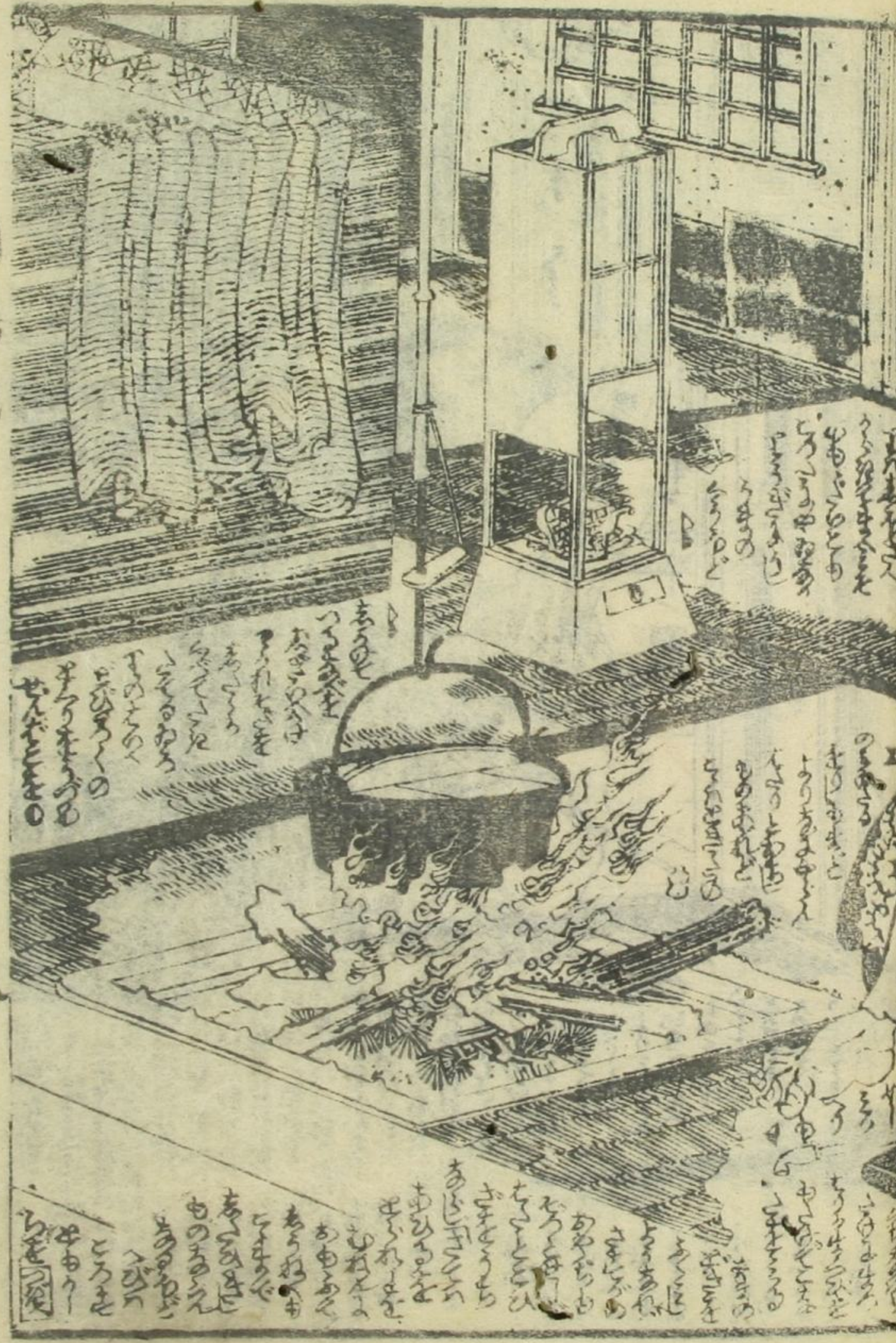
此圖畫之
 人物皆係
 當時所著
 其衣冠之
 制亦與今
 不同也



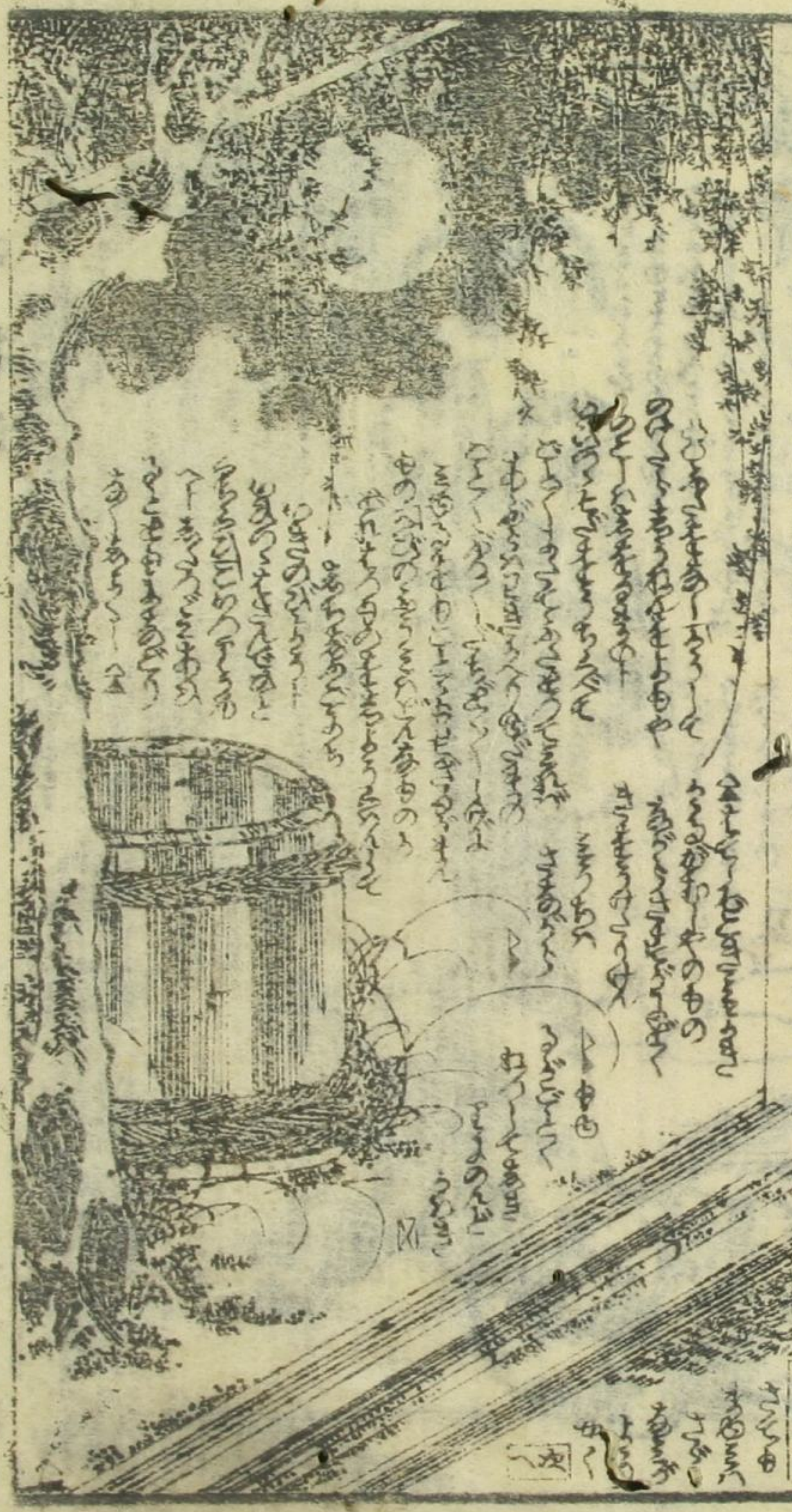
此圖畫之
 人物皆係
 當時所著
 其衣冠之
 制亦與今
 不同也

日
 身
 安





明和



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Chinese or Japanese calligraphy, arranged in vertical columns across the landscape illustration.



Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the left page, arranged in vertical columns below the illustration of the person playing the instrument.

檢蝶樓國貞画



三亭春馬作

寶心散

さんじんさんご
らんちんちん
四つめ

中橋南傳馬山東門
十葉堂孝神製

柳蔭月朝妻

十編
大尾

山々亭有人作
梅朝樓國貞画

藪黄鵠八幡不知

十編
大尾

山々亭有人作
錦朝樓芳席画

阿玉ヶ池櫛月形

五編
大尾

山々亭有人作
陽齊豊國画

地不綿繪團扇問屋

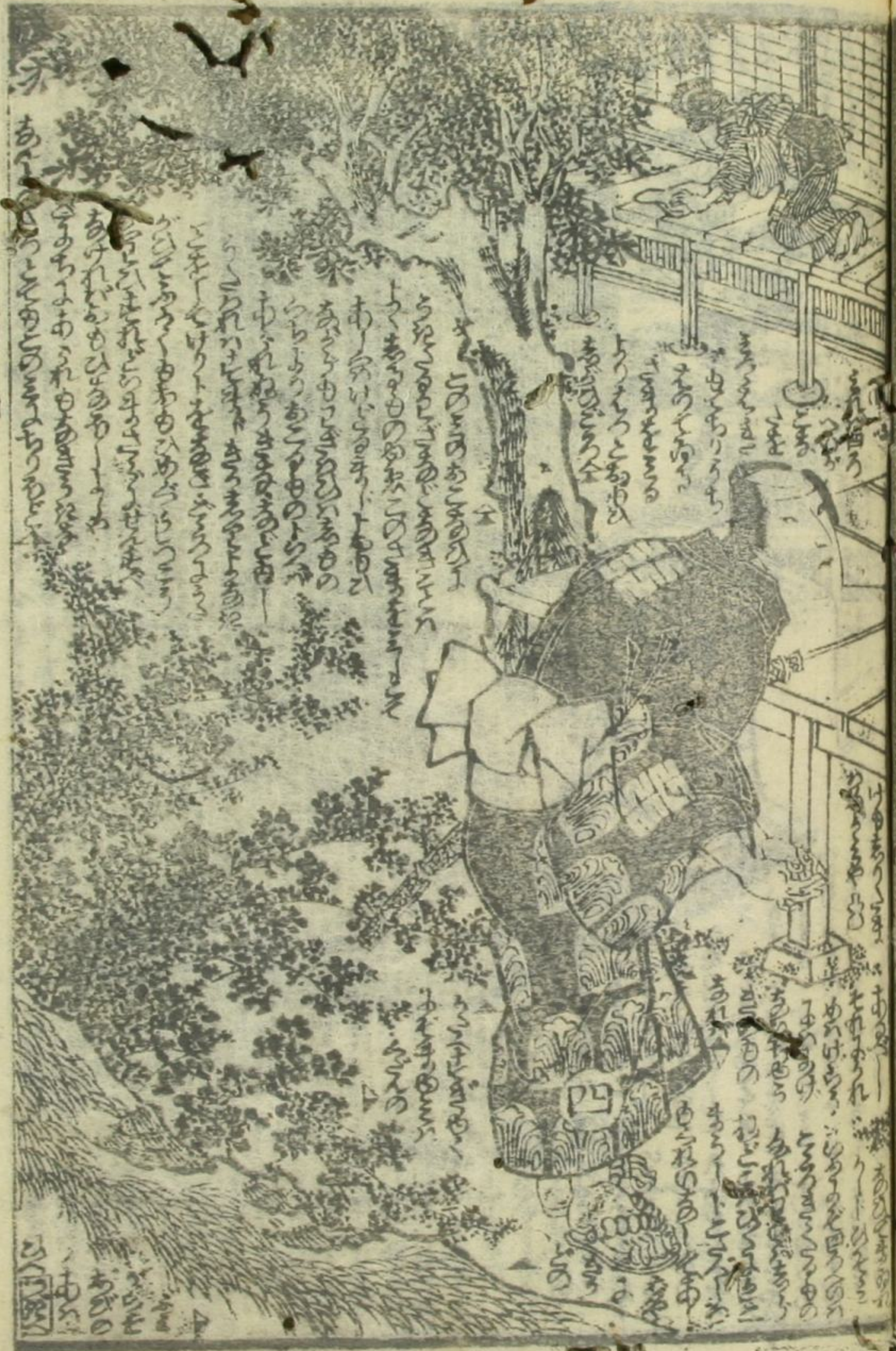
紅英堂 葛吉



二編下







Handwritten text in the left margin, oriented vertically.

Small handwritten characters or a mark in the left margin.

Small handwritten characters or a mark at the bottom left of the page.



Handwritten text at the top of the page, oriented horizontally.

Handwritten text in the right margin, oriented vertically.

Handwritten text block on the right side of the page, oriented vertically.

Handwritten text block at the bottom right of the page, oriented vertically.

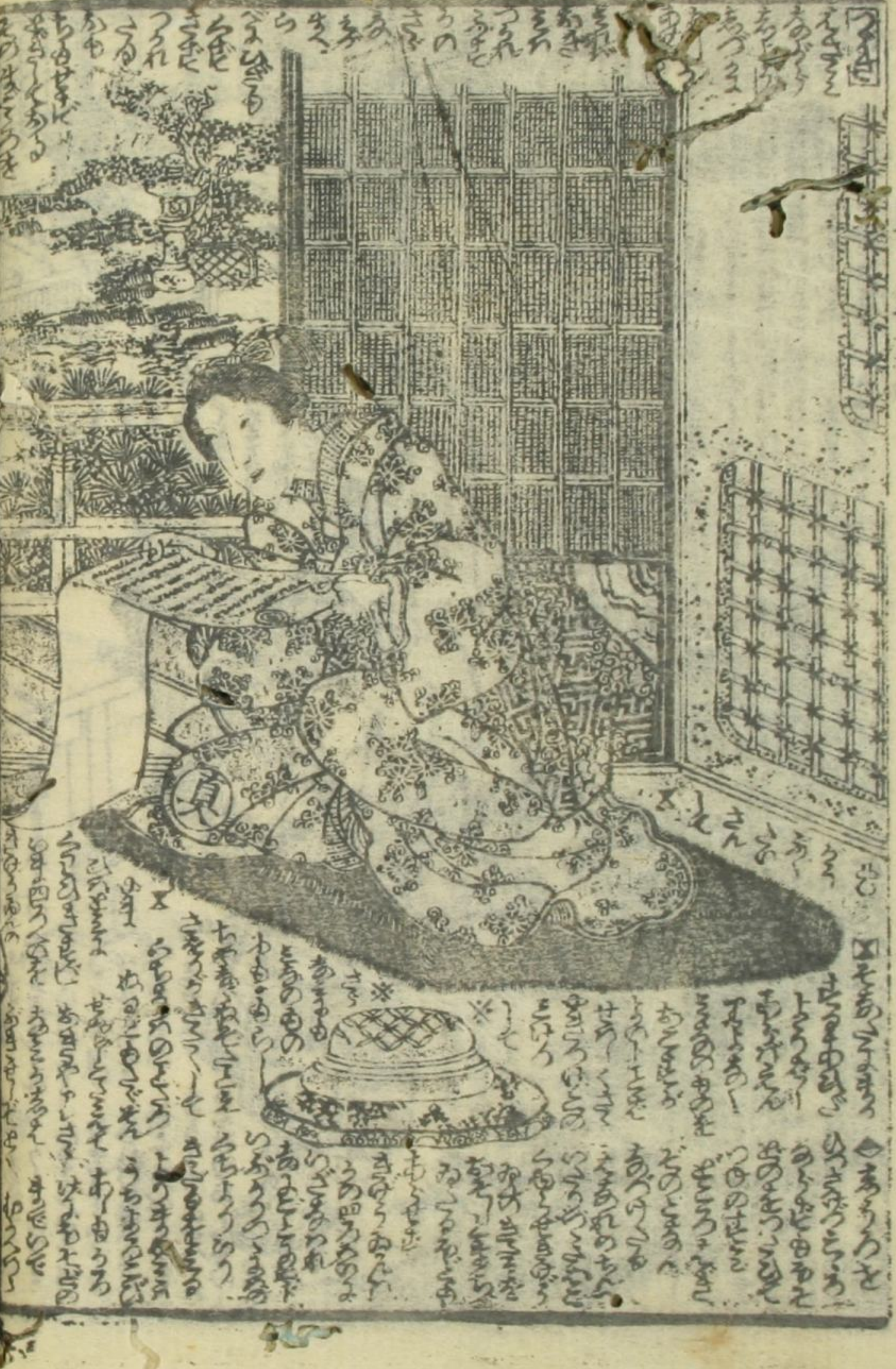
Small handwritten characters or a mark at the bottom right of the page.



Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of the scene or a commentary. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the illustration and moving left.

五
五
五
五
五

五
五
五
五
五

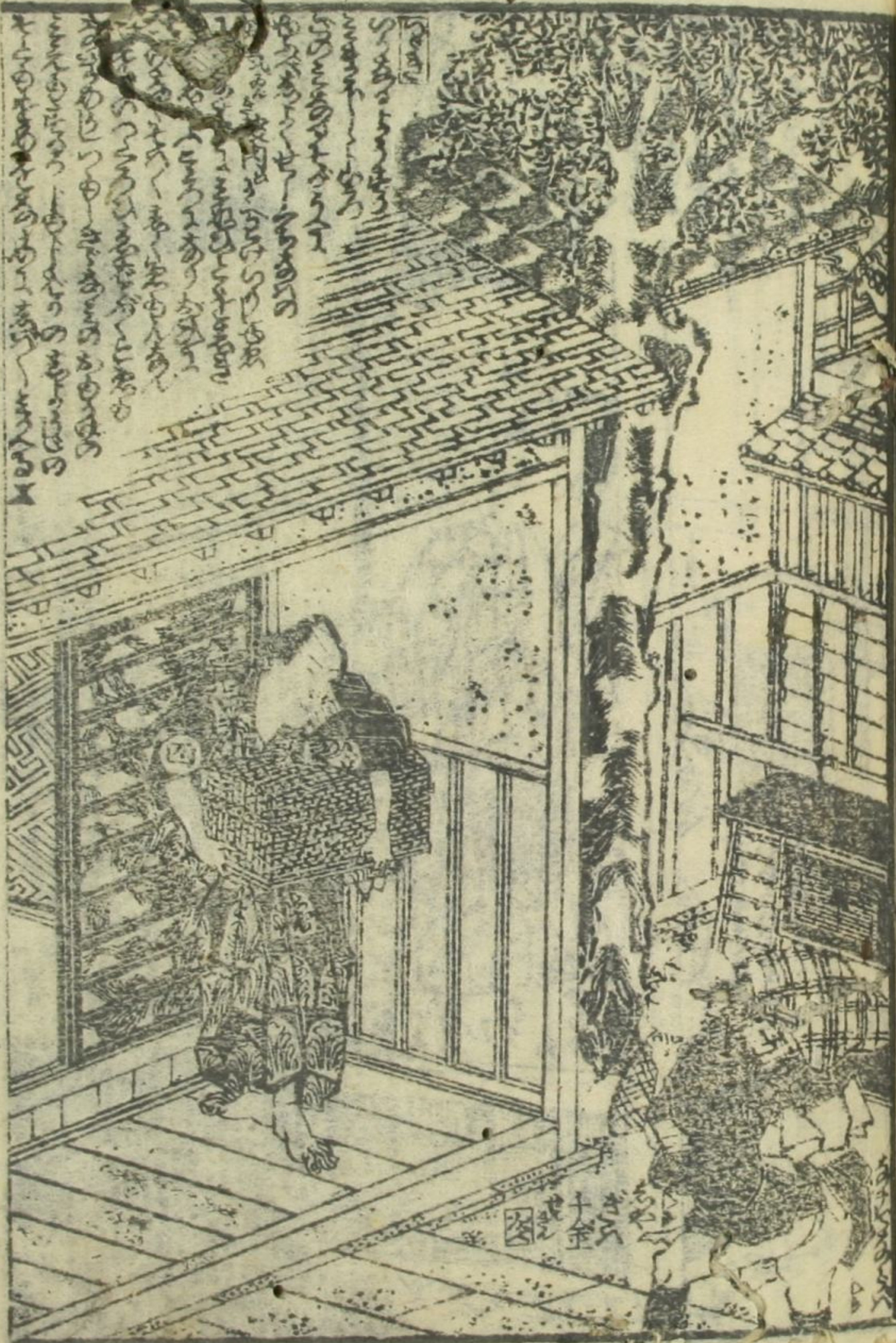


Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of the scene or a commentary. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the illustration and moving left.

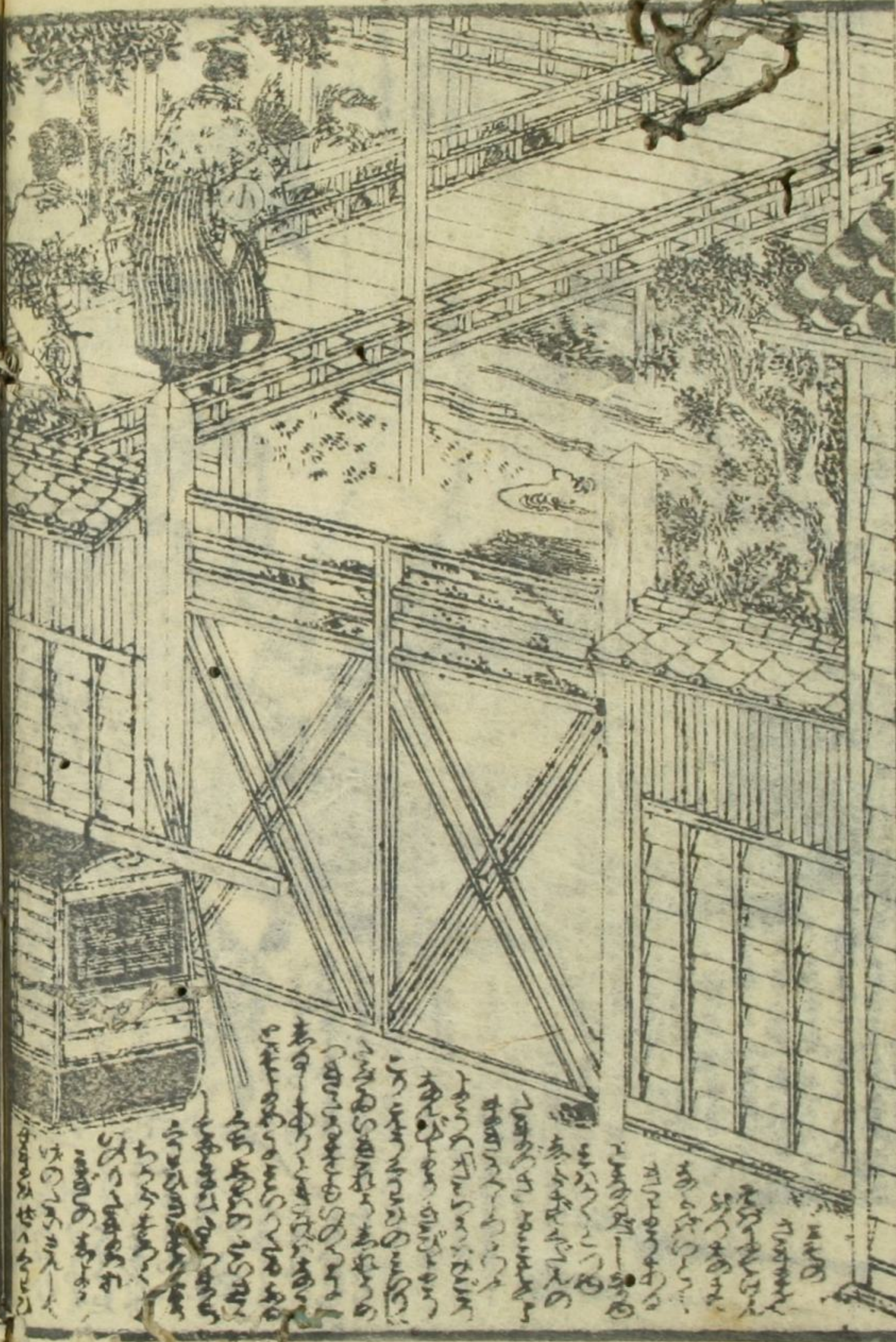
月
半
言

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of the scene or a commentary. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the illustration and moving left.



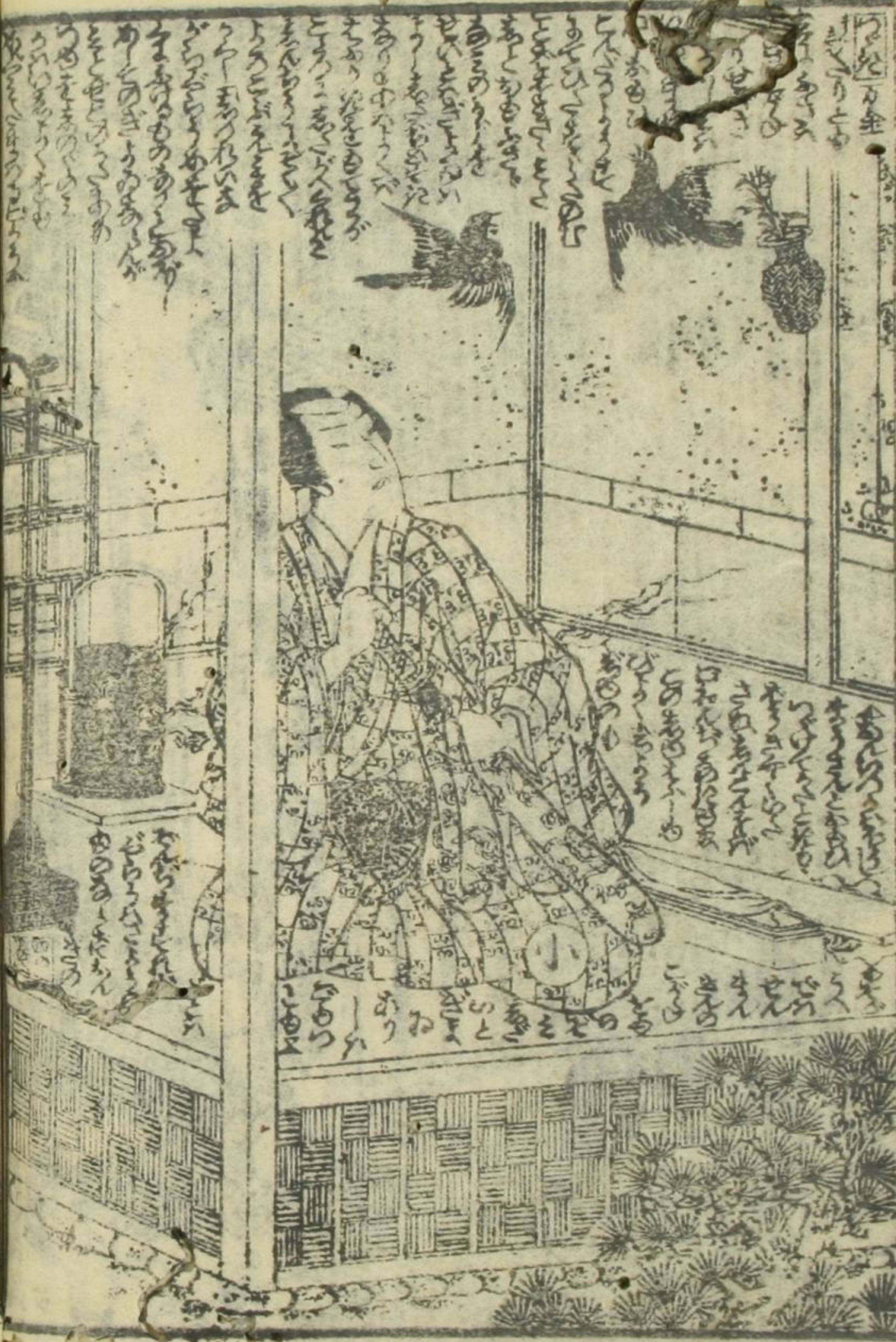


Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items related to the scene. The text is arranged in vertical columns, starting from the top left and moving downwards.



Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items related to the scene. The text is arranged in vertical columns, starting from the bottom left and moving upwards.

月
才
集



此の如き
 女は
 常に
 静かに
 坐す
 こと
 多し
 其の
 容色
 清く
 静かに
 坐す
 こと
 多し
 其の
 容色
 清く
 静かに
 坐す
 こと
 多し

此の如き
 女は
 常に
 静かに
 坐す
 こと
 多し
 其の
 容色
 清く
 静かに
 坐す
 こと
 多し

此の如き
 女は
 常に
 静かに
 坐す
 こと
 多し
 其の
 容色
 清く
 静かに
 坐す
 こと
 多し

此の如き
 女は
 常に
 静かに
 坐す
 こと
 多し
 其の
 容色
 清く
 静かに
 坐す
 こと
 多し



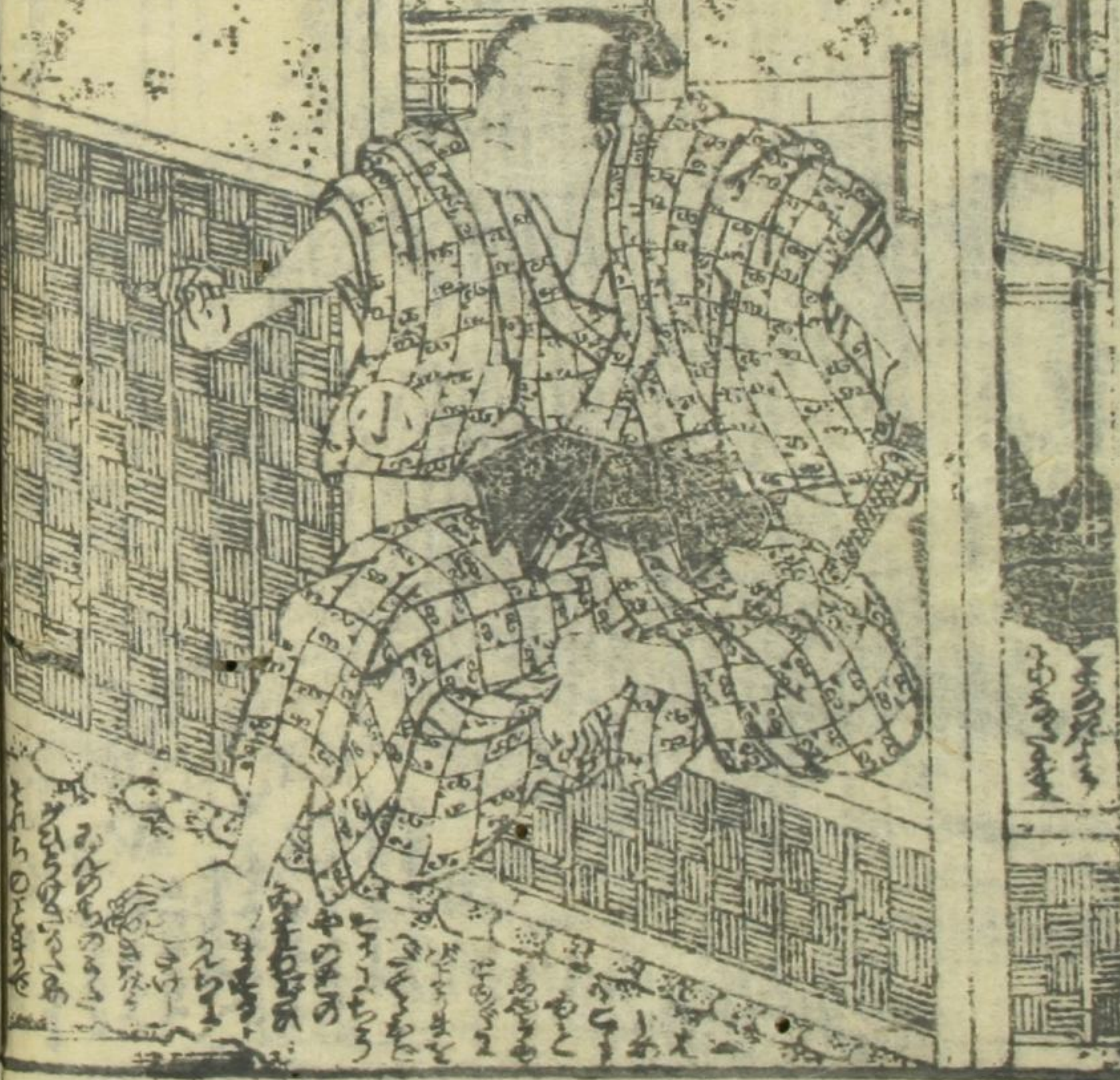
此の如き
 男は
 常に
 静かに
 立す
 こと
 多し
 其の
 容色
 清く
 静かに
 立す
 こと
 多し

此の如き
 男は
 常に
 静かに
 立す
 こと
 多し
 其の
 容色
 清く
 静かに
 立す
 こと
 多し

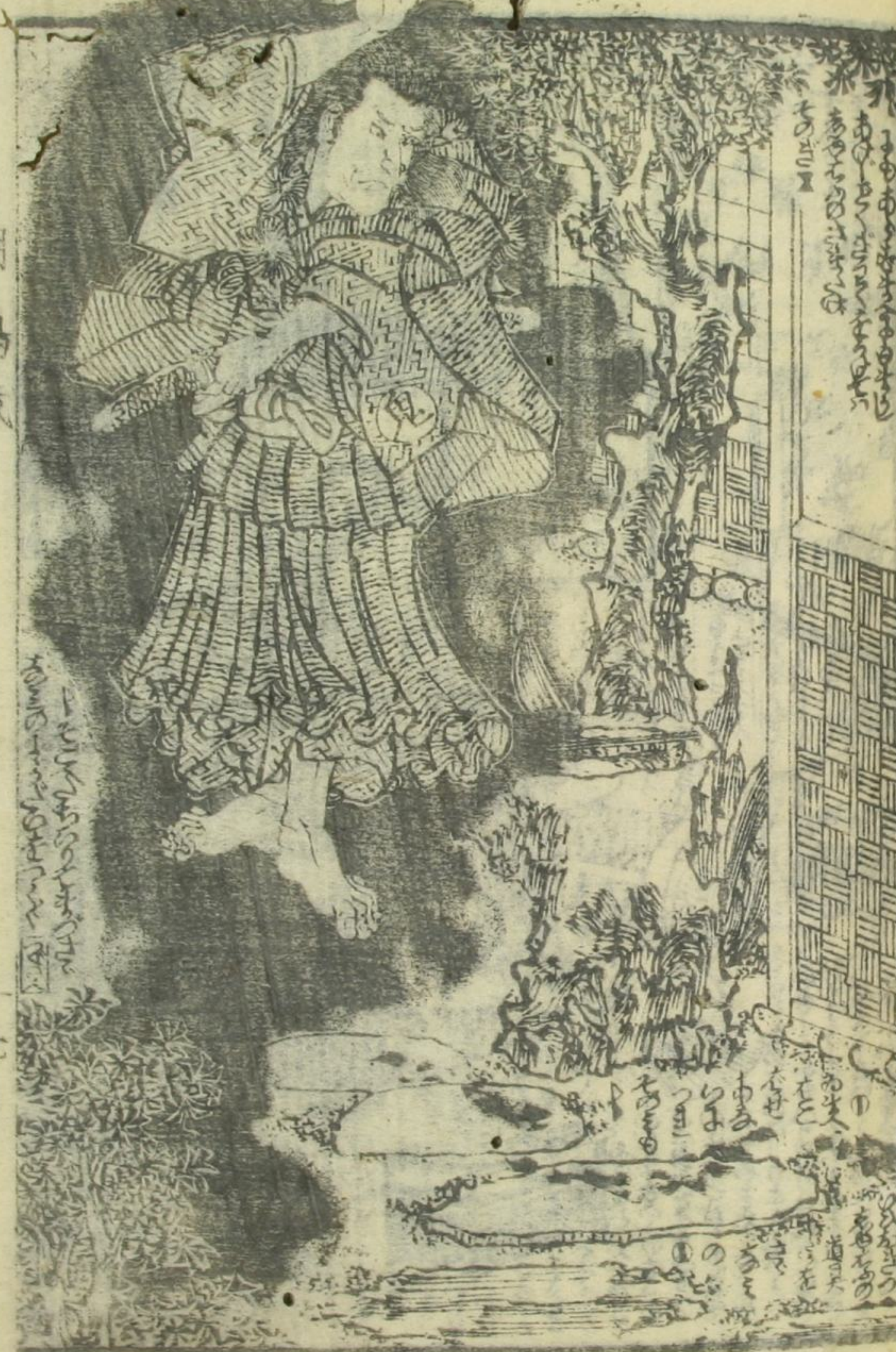
此の如き
 男は
 常に
 静かに
 立す
 こと
 多し
 其の
 容色
 清く
 静かに
 立す
 こと
 多し

此の如き
 男は
 常に
 静かに
 立す
 こと
 多し
 其の
 容色
 清く
 静かに
 立す
 こと
 多し

Handwritten text in the upper right section of the right page, likely a preface or introductory notes.

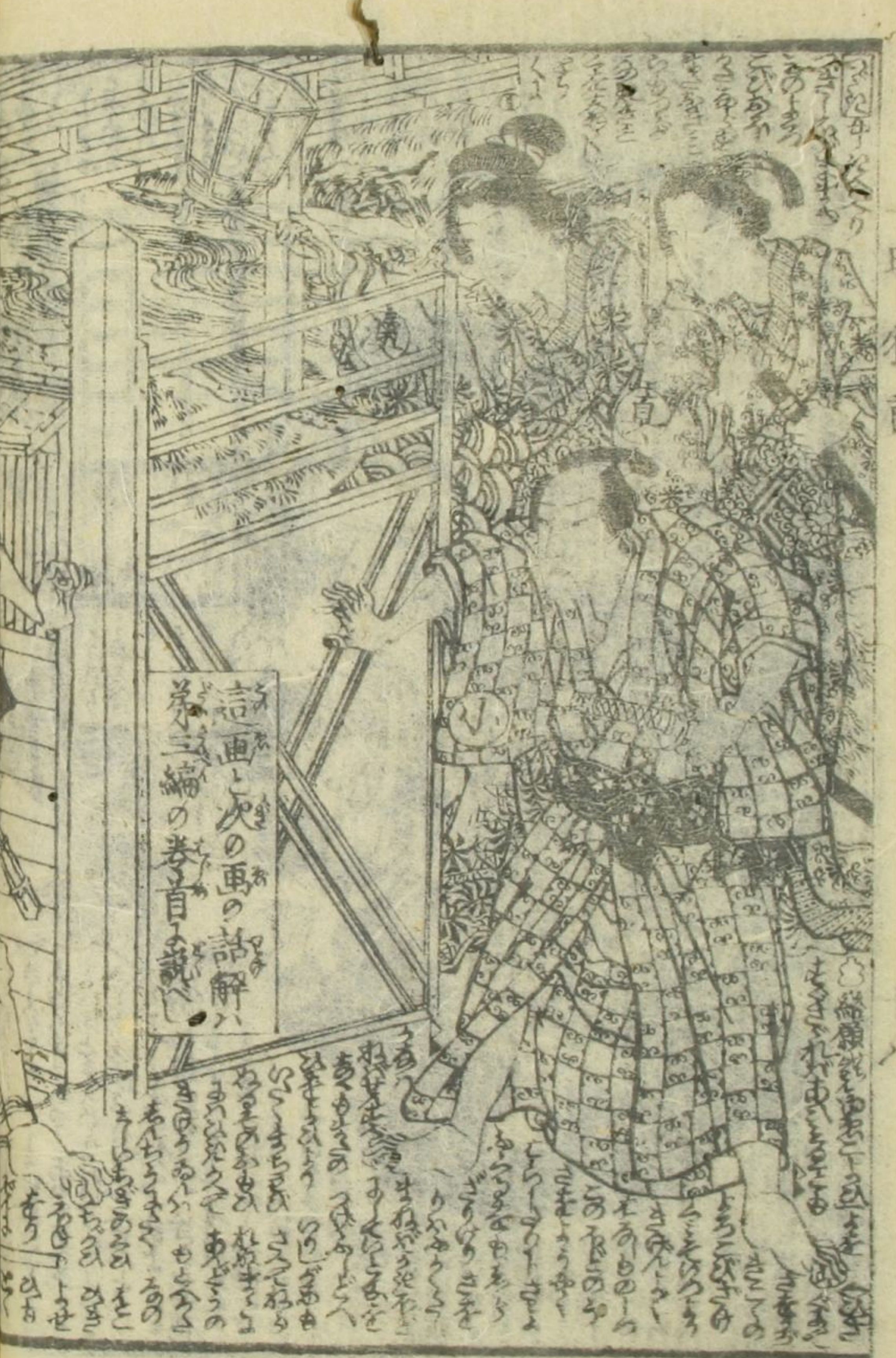


Handwritten text at the bottom of the right page, possibly a signature or publisher's mark.



Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a signature or publisher's mark.





この面と次の面の語解ハ
第三編の巻首ノ説

田代詩



010190509589

明治七年甲戌陽春開板標目

三亭春馬作



梅蝶樓國貞画

梅蝶樓國貞画

厚化粧萬年嶋田

廿編 春水作
大尾 國貞画

新島九尾傳

廿編 春水作
大尾 國貞画

室町源氏胡蝶春

三編 種彦作
大尾 國貞画

筆海四國聞書

十五編 種彦作
大尾 國貞画

鼠洞通夜譚

一編 種彦作
大尾 國貞画

明鴉墨画廻禰禰

廿編 種彦作
大尾 國貞画

童謡妙々車

三十編 種彦作
大尾 國貞画

花封蒼玉章

十編 種彦作
大尾 國貞画

薄倂幻日記

三十編 春水作
大尾 國貞画

八犬傳大の双紙

六十 柳亭作
大尾 國政画

七幼ぎ葛飾譚

十五 種彦作
大尾 國貞画

南傳馬町賣下司
葛屋吉藏板



新編